

神奈川県優良小売店舗表彰

会員2店舗が受賞

昨年11月25日、40回目となる「平成27年度神奈川県優良小売店舗表彰式」（一般社団法人神奈川県商工会議所連合会及び神奈川県商工会連合会の共催）が県本庁舎で行われ、32店舗が表彰されました。

この表彰は、県内で中小小売業や飲食業を営む店舗の中から、独自の経営理念により個性のある店づくりに努め、地域経済の発展に寄与している優良小売店舗を表彰するものです。

相模原からは、本格的なインドカレーでありながら日本人にも親しみやすいと好評

の「印度食堂 なんかれ」（南区東大沼3-32-14）、

店長が作るマジパン（粉末のアーモンド、砂糖、卵白をこねて



左から パティスリープリエ 代表取締役 岡部 敬介氏、神奈川県副知事 黒川 雅夫氏、印度食堂 なんかれ常務取締役 長久保 健氏、店長 堀口 浩氏

ペースト状にしたもの）人形が魅力の洋菓子店「パティスリープリエ」（緑区西橋本1-20-19）の2店舗が受賞されました。

「相模原の地盤事情」

建設業部会が経営講演会

建設業部会（谷津弘部会長）は昨年12月10日、市立産業会館で経営講演会を開催しました。

講演のテーマは、「最近の自然災害に学ぶ相模原の地盤事情」。東京電機大学教授で地盤工学の第一人者として活躍する安田進氏を講師に迎え、相模原の地盤特性などの話を聞きました。

講演では、まず沿岸部の都市と比較した相模原市の地盤特性について説明。市内で予想される災害の話の中で安田氏は「旧相模原市内の地盤は、局地的に崖崩や浸水な

どの不安なところはあるものの安定している。近々に心配されるところでは富士山噴火に伴う降灰被害の方が懸念される」と話しました。

その後、安田氏は、鬼怒川調査委員長や浦安市液状化対策技術検討調査委員を務めた自身の経験から、調査時の話や災害発生のメカニズムについて詳しく解説。参加者からは「相模原の地盤についてよくわかった」、「事実を交えわかりやすく地盤に関する災害について説明があり知識を深めることができた」などの感想が寄せられ、相模原の地盤を知る大変貴重な機会となりました。

「女性経営者ビジネス交流会」

「つながりの場」づくりを創出

当商工会議所は昨年11月19日、ソレイユさがみで女性経営者・経営幹部を対象とした「女性経営者ビジネス交流会」を実施しました。

当交流会は今年度が第一回目。当所会員企業の女性経営者・経営幹部が新たなビジネスチャンスの創出、ビジネスパートナーとの「つながりの場」づくりを目的に開催したものです。20社21名が参加しました。

第一部では、(株)アルファプランニング代表取締役・中神公子氏による「賢い女性

が二人いると会社は伸びる」と題した講演会を行いました。

第一部では、橋本にあるイタリア料理店「サントフェゴ」に会場を移し、交流会を催しました。参加者からは、「参加して大変有意義だった」、「同じ悩みを共有できる同年代の女性経営者の方とネットワークができてよかった」、「今後も交流会を実施いただき是非参加したい」といった意見が寄せられました。



熱心に講演を聞き入る女性経営者の方々



豊富な経験を語る安田氏

企業を育み地域を潤すエリアネットワーク通信

さがみはら商工会議所 会報

SAGAMIHARA CHAMBER of
COMMERCE and INDUSTRY.

1

産業界の活力で新相模原を創出

会員とともに行動、変革、そして未来へ

2016年 1 月号 No.498



今月の主なNEWS

相模原・日本商工会議所会頭年頭所感 2,3p